

7年生の家庭科でプロに学ぶ「浴衣の着付け」

7年生（中1）の家庭科の授業で「つなげよう和服の文化」という単元があります。その中で、「実際に浴衣を着てみて、畳むところまで」を地域の着付けの先生に教えて頂きました。



普段、なかなか着る機会のない和服に触れる実践授業！

講師は毎月、池田交流センターで着付けを行ってる内田先生とそのサークルの皆さま。浴衣や紐なども貸して下さいました。

7月の暑い時期でしたが、各クラス2時間ずつ、冷房の効いたランチルームで、男子も女子も着付けにチャレンジ！



先生方に教えてもらいながら、自分でも着ていきます。なかなかうまく着られなくて苦戦する生徒達。特に帯を結ぶのは、生徒にとっては難しく、先生方も大変だったと思います。



最後、畳み方まで学び、自分で畳んでしまいました。

4クラスあるので、4日間もお世話になりました、内田先生とサークルの皆さま。「とても楽しかった」「若いパワーをもらった」「新鮮な経験になりました」など、嬉しい感想を頂きました。生徒達はお陰で貴重な体験をすることが出来ました。ありがとうございました。